

令和2年度国公立大学病院副看護部長研修実施要項

1. 目的

大学病院の看護の充実を図るために、上級看護管理者として必要な実践能力を高めることを目的とする。本研修において、わが国の医療の現状を踏まえ、自施設の組織変革に向けたビジョンを明確にし、その実現に向けた計画案を立案・実践・評価する。

2. 実施

文部科学省認定看護学教育研究共同利用拠点

千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター

3. 期間

本研修は研修Ⅰ～Ⅲで構成される分散型研修となる。

研修期間は、令和2年6月～令和3年3月までの9か月間である。

研修Ⅰ：令和2年6月2日（火）～6月 5日（金）

研修Ⅱ：令和2年9月8日（火）～9月11日（金）

研修Ⅲ：令和3年3月2日（火）～3月 3日（水）

4. 会場

千葉大学大学院看護学研究科（千葉市中央区亥鼻1-8-1）

5. 受講定員

20名

（ただし、定員を超える応募があった場合は、就任後経験2年目～3年目の者を優先し、「応募者調査票」の課題の明確さ等を総合的に勘案して選考のうえ、受講者を決定させていただきます。）

6. 受講資格

- 1) 国公立大学病院に勤務する2年目以降の副看護部長とする。
- 2) 応募者自身が、自施設の組織改革に向けた課題を持っていること。
- 3) 全日程参加でき、研修期間中は研修に専念できること。

7. 受講料

研修Ⅰ～Ⅲの全課程 12万円（消費税を含む。）

8. 研修内容

授業科目、内容、時間表、課題等については、「別紙1」を参照のこと。

（ただし、都合により一部変更することがあります）

9. 講師

大学教員、学識経験者、関係省庁の職員、大学病院看護管理者

1 0. 応募方法

ホームページでの申込みとなります。

- ① センターホームページ (<https://www.n.chiba-u.jp/center/>) の副看護部長研修申し込みフォームより、令和 2 年 4 月 6 日 (月) 17 時までにお申込みください。
- ② お申込みには、併せて「応募調査票」のご提出が必要となります。
 - ・「応募調査票」(別紙 2) は、センターホームページよりダウンロードの上、必要事項を漏れなく記入してください。
 - ・推薦者は、看護部長様とし、推薦者欄に自署でサインをお願いいたします。
 - ・送付につきましては、PDF 添付にて「指定パスワード」を設定してください。
※指定パスワードは、申込みフォームに記載されています。

1 1. 決定通知

決定通知(推薦者宛)・必要書類(実施案内・振込方法等)については、令和 2 年 4 月 30 日 (木)までに送付させていただきます。

1 2. 修了証書

研修修了者には、千葉大学大学院看護学研究科長より修了証書を授与します。

1 3. 個人情報の取扱いについて

本研修への申込みに際して提出された「応募者調査票」に記載の個人情報については、本研修業務及び看護実践研究指導センター年報への名簿掲載のために利用し、それ以外の目的に利用することはありません。

1 4. その他

1) 本研修内容についての問い合わせ先

千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター
教授 野地 有子 (のじ ありこ)
〒260-8672 千葉市中央区亥鼻 1-8-1
Email: anoji@faculty.chiba-u.jp

2) 研修内容以外(事務関係)の問い合わせ先

千葉大学亥鼻地区事務部総務課総務第二係 坂井・馬場・田島
〒260-8672 千葉市中央区亥鼻 1-8-1
TEL: 043-226-2464 (直通)
FAX: 043-226-2382
Email: kango-CQI@chiba-u.jp

【研修Ⅰ】令和2年6月2日（火）～6月5日（金）

授業科目（予定）	時間	内容
研修オリエンテーション	2.5	研修プログラム概要を理解し、受講者各自が研修における自己の目的を明確にする。
医療政策の動向	1.5	わが国の最新の医療政策の動向を知る。特に大学病院に求められる事柄を、医療と医療人の教育の側面から理解する。
組織論・組織分析	4.5	組織論・組織分析の方法論と活用を通して、大学・大学病院における組織の特徴を理解する。キャリア支援を含む。
医療情報学	3	医療経済のしくみや構成要素を理解し、看護管理と関連させながら、社会の動向や情報を分析するための基本的な知識を得る。
病院経営（財務管理）	3	財務管理の基本的知識を学ぶと共に、病院経営における財務管理の実際を知る。特に、看護管理者が責任をもつべき内容を理解する。
組織変革のための評価 （看護評価学）	1.5	組織変革のための企画立案に関する実践看護評価について学ぶ。
医療倫理	1.5	医療倫理に関する最新の考え方とその実践における適用について理解を深める。医療倫理に関する法的な問題や課題について理解を深める。
医療安全	1.5	医療安全について、「医療という行為それ自体」と「それを担う人々の存在」と「それを動かすシステム」の視点から考える。
成人教育と教授システム学	3	成人教育と教授システム学の基本を学び、病院内で行われる多くの研修や教育プログラムを効果的に実施する基本的な知識を得る。
看護管理論	3	看護管理の歴史的発展を踏まえて、副看護部長に焦点をあてた看護管理論を学ぶ。
情報収集・分析に関する理論（方法論Ⅰ）	3	問題解決に必要な情報収集・分析に関する基礎理論・方法論を理解し、研修Ⅱへの準備とする。
計	28	

【研修Ⅱ】令和2年9月8日（火）～9月11日（金）

授業科目（予定）	時間	内容
組織変革のための企画立案	1.5	組織変革のビジョンを描き、それを実現していくための企画立案の手法を学ぶ。
情報収集・分析に関する理論（方法論Ⅱ）	3	自組織のデータを用いて、問題解決に必要な情報収集分析に関する具体的な方法論を学び、課題抽出・分析演習に活かす。
企画立案演習	10.5	自施設における組織変革のビジョンを描き、その実現に向けた課題を抽出し、その課題を解決していくための企画立案の実際を学ぶ。
プレゼンテーション演習	3	組織変革のビジョンを描き、それを実現していく際の交渉相手を想定し、交渉を戦略的に進めるためのプレゼンテーション資料作成の手法を学ぶ。
コミュニケーション・人間関係論演習	1.5	コミュニケーション・人間関係に関する理論や方法を理解し、それを活用して実際の問題や課題を新たな視点で捉えなおす。また、看護管理者としての自身のコミュニケーション・人間関係の捉え方を振り返る。
課題抽出・分析演習	4.5	自施設の組織変革にむけた課題を抽出し、関連情報の分析を通して、実践計画を立案する。
研修オリエンテーション	1	研修プログラムⅡ～Ⅲの期間に行う課題の概要を理解し、受講者各自が研修における自己の目的を明確にする。
附属病院見学（希望者）	(1.5)	千葉大学医学部附属病院の見学を実施する。他施設での取り組みの実際を学ぶ機会とする。見学は事前に登録した希望者とし、見学希望内容についてはできる範囲で応じる。
計	26.5	(病院見学 1.5 時間を含む)

【研修Ⅱ】と【研修Ⅲ】の間の期間に行う各自の課題

	課題	内容
1	他施設訪問の計画 実施と報告書の作成	自施設の組織変革に向けた課題に関連する情報を収集するために、他の研修受講生の所属施設への訪問を企画実施する。訪問施設の選定、日時の交渉等は、対象施設におけるルールを十分理解した上で、受講生各自が行う。訪問後は、報告書を作成し、提出する。
2	実践計画の展開・評価 と報告書の作成	【研修Ⅱ】で立案し実践計画を自施設において実際に展開し、その経過および評価について報告書を作成する。必要に応じて、担当教員の支援を受けることができる。

【研修Ⅲ】令和3年3月2日（火）～ 3月3日（水）

授業科目	時間	内容
実践報告会	12	【研修Ⅱ】で立案した実践計画を自施設において実際に展開した経過及びその評価について報告する。また、他施設の実践報告を聞いて、まとめを行う。

(授業科目、時間、内容は変更する場合があります)